

## 平成 13 年 3 月期第 3 四半期の業績等の概況（連結）

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン  
 上場取引所(所属部) 大阪証券取引所・新市場部  
 (コード番号 7608)  
 本社所在地 大阪府中央区上町一丁目 3 番 10 号  
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部長  
 氏 名 川 上 優  
 T E L (06) 6765-0670

## 1. 業 績

(千円未満切捨て)

(1)平成 13 年 3 月期第 3 四半期(平成 12 年 4 月 1 日～平成 12 年 12 月 31 日)の業績

	13 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)	対前年同 期増減率	12 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)	参考 前期(通期)
売 上 高	千円 4,010,457	% 1.19	千円 3,963,438	千円 5,030,532
営業利益	349,835	22.22	449,772	458,415
経常利益	341,960	19.22	423,300	440,819

(2)販売の状況

業態別売上高

(単位：千円、%)

		13 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)		12 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)		参考 前期(通期)		
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	
ア ミ ユ ズ メ ン ト	オ ペ レ ー タ ー	メーカー系	422,249	10.5	440,327	11.1	554,845	11.0
		量販店系	205,350	5.1	230,174	5.8	302,659	6.0
		ショッピングセンター系	342,533	8.5	315,271	8.0	397,851	7.9
		路面店	2,116,695	52.8	2,011,284	50.7	2,510,310	49.9
		遊園地等	75,905	1.9	79,391	2.0	94,144	1.9
	ディスプレイター	267,543	6.7	262,602	6.6	365,107	7.3	
	小 計	3,430,278	85.5	3,339,052	84.2	4,224,919	84.0	
物 販	問 屋	62,578	1.6	115,085	2.9	137,997	2.7	
	小売店	517,600	12.9	509,300	12.9	667,614	13.3	
	小 計	580,178	14.5	624,385	15.8	805,612	16.0	
	合 計	4,010,457	100.0	3,963,438	100.0	5,030,532	100.0	

(注) 1. メーカー系とは、アミューズメント機器を製造している企業のことです。

2. 量販店系とは、大手量販店(スーパー等)のアミューズメント部門のことです。

3. ショッピングセンター系とは、量販店やショッピングセンターのテナントとして店舗展開している企業のことです。

4. ディストリビューターとは、アミューズメント施設へのアミューズメント機・景品等の販売を主業とし、アミューズメント施設を運営していない法人または個人のことです。

5. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

商品分類別売上高

(単位：千円、%)

	13年3月期第3四半期 (当四半期)		12年3月期第3四半期 (前年同四半期)		参考 前期(通期)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自社企画商品	85,591	2.1	61,101	1.5	87,328	1.7
キャラクター商品	1,004,352	25.1	967,245	24.4	1,247,907	24.8
仕入商品	2,920,514	72.8	2,935,091	74.1	3,695,295	73.5
合計	4,010,457	100.0	3,963,438	100.0	5,030,532	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません

(3) 主な資産・負債の変動について

項目	13年3月期第3四半期	増減額	前期末
(資産)	千円	千円	千円
現金及び預金	794,441	32,404	826,846
受取手形及び売掛金	1,156,387	432,027	724,360
棚卸資産	258,852	181,930	76,921
建物	242,851	50,865	293,717
土地	391,620	42,510	434,130
(負債)			
買掛金	848,834	435,253	413,580
短期借入金	369,087	107,023	262,064
未払法人税等	33,078	86,198	119,277
退職給付引当金	33,606	33,606	-

(注) 当四半期及び前年同四半期に係る数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

2. 業績の概況

(1) アミューズメント業界向け販売事業

当四半期におけるアミューズメント業界向け販売事業は、頭文字(イニシャル)Dのヒットが売上高と利益の増加に大きく貢献したことと、ショッピングセンター系オペレーターと路面店への販売が好調であったため、売上高は3,430百万円(前年同期比2.7%増)と増収となりました。頭文字(イニシャル)Dは、平成13年1月の映画封切りと、当社の商品化のタイミングがうまく合致し、当四半期におけるこのシリーズの売上高は135百万円となりました。販売面では、集客力のあるショッピングセンター系オペレーターと路面店への販売を強化した結果、それぞれ前年同期比8.6%、5.2%の増収と好調でありましたが、オリジナル商品の企画開発が不十分であったため、メーカー系オペレーターと量販店系オペレーターへの売上高は前年を下回る結果となりました。

S P部門は、新規の顧客を開拓しながら商品を絞って営業活動を展開した結果、28百万円の売上高を上げました。

今後の施策といたしましては、先行受注体制の確立と商品企画開発体制の構築のために、商品部の中に新たに商品企画という部署を設け、これをさらに3つのグループに分類することによって、より専門分野に特化した商品企画ができる組織に改編いたしました。これによりメーカー系・量販店系オペレーターへの商品提案と先行受注を推進し、売上高のボリュームアップに努めてまいります。

## (2) 物販業界向け販売事業

当四半期における物販業界向け販売事業は、主力のキーホルダー、ぬいぐるみ、携帯電話アクセサリーの不振と、新商品の受注が計画に対し不足したことや、自社企画商品の開発が不十分で卸しへの販売が大きく落ち込んだことにより売上高は 580 百万円（前年同期比 7.1%減）と減収となりました。主力の携帯電話アクセサリーの不振を補うため携帯電話関連グッズ、バラエティ雑貨の品揃えの拡充と販売強化を図っておりますが、売上高が少なく、全体の落ち込みをカバーするまでには至っておりません。今後、自社企画商品の拡充による売上高のボリュームアップを図ります。

## 3 . 当期の見通し

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	5,040 百万円	325 百万円	177 百万円	52 円 87 銭

## 4 . その他

### 福岡営業所の移転について

営業効率の向上を図る為、福岡市中央区にある営業所を下記住所へ移転致します。

移転は平成 13 年 3 月中旬を予定しております。

福岡市博多区吉塚二丁目 1 6 番 1 1 号

エスケイビル